

# 平成 29 年度 第 2 回郡上市地域公共交通会議(会議要録)

○会議名称 平成 29 年度第 2 回郡上市地域公共交通会議

○開催日時 平成 29 年 9 月 4 日 (月) 午後 1 時 30 分～午後 4 時 50 分

○開催場所 郡上市役所 4 階 大会議室

## ○協議事項

議題第 1 号 郡上市八幡町稲成：中野交差点の交通規制変更に伴うルート変更について

対象路線 (八幡バス：和良線、自主運行バス：美並八幡線、相生線)

議題第 2 号 市町村運営有償運送 (交通空白輸送) の更新について

議題第 3 号 市町村運営有償運送 (市町村福祉輸送) の更新について

議題第 4 号 郡上八幡白鳥線 (白鳥交通) の便数及びダイヤ変更について

議題第 5 号 郡上市地域公共交通網形成計画の策定について

## ○報告事項

報告第 1 号 郡上八幡万場線、白鳥ひるがの線のダイヤ変更について

報告第 2 号 自主運行バス (高鷲) 鷲見線のダイヤ変更について

○出席委員 青木修 (副市長)、平岩憲政、山田芳喜、武藤尚樹、大西春子、畑中知昭、出井建雄、馬淵公子、古田米弘、西脇洋恵、長尾実、廣中健太、和田美好、下里武司、宮内菊次、伊豆原浩二、佐々木綱行、池田喜八郎、古川昭文  
古川亜弓 (代理)、宇佐美有紗 (代理)、柴田裕子 (代理)、一柳秀樹 (代理) 計 23 名

○欠席委員 佐野みゆき、高田太豊 2 名

○出席者 (事務局：市長公室企画課)  
室長 三島哲也、企画課長 河合保隆、交通担当係長 和田隆男、主査 酒井義文

1. 開会 (司会進行：企画課長)

2. あいさつ

・副市長

・宇佐美委員 (国土交通省中部運輸局岐阜運輸支局 運輸企画専門官)

◆議長 (副市長) 議事進行

3. 協議事項

議題第 1 号 郡上市八幡町稲成：中野交差点の交通規制変更に伴うルート変更について

(説明者：企画課 酒井主査) 資料 1

\*質疑応答

(委員)

本議題とは関係が無いかもしれないが、八幡町の中野交差点は右折車が多く、朝などは大変混雑すると

ころである。今回のルート変更により、バス車両が交差点で曲がることになるため、右折車線を作るなど道路改良面での市の動きがあるのか知りたい。また、動きがないのであれば市から県などに対し要望をされるようお願いしたい。

(事務局)

現時点では中野交差点の道路改良の情報は無いが、今後建設部等と情報共有を図り、国道の道路改良の要望を行っていく。

(議長) 異議なしと認め、原案通り承認とする。

## 議題第2号 市町村運営有償運送（交通空白輸送）の更新について

(説明者：企画課 酒井主査) 資料2

\*質疑応答

(委員) 異議なし

(議長) 異議なしと認め、原案通り承認とする。

## 議題第3号 市町村運営有償運送（市町村福祉輸送）の更新について

(説明者：高齢福祉課 松井課長) 資料3

\*質疑応答

(委員) 車の台数は市全体で9台から6台に減ると説明であったが、今後の利用状況によって、車の台数などは変更していくということで理解してよろしいか。また高鷲地域は車両が無くなり、事務局が無くなっているが受付するにはどこへ連絡すればいいのか。

(事務局) 今後においてもこの6台で市全域での需要に対応できると考えている。理由として福祉有償運行は事前予約制で全地域の車両を同時に使うことは無いため、他地域の車両を借りれば対応は可能と考える。受付については高鷲振興事務所でも行っている。今回の申請書では車両を管理している地域しか掲載していないが、すべての振興事務所で受付対応している。

(委員) 今回車両の台数が減るということだが、そういった情報は利用者に周知されているか。

(事務局) 周知方法については、介護認定の際、担当のケアマネージャーから説明を行っている。また、広報郡上、広報無線、福祉情報をまとめた冊子などを使って周知を行っている。市内の介護事業所への情報提供も徹底している。

(委員) 利用人数が少ないからというのは周知の問題もあるのかもしれない。きめ細かな周知をお願いしたい。

(委員) 福祉有償運行は区域運行であるが、隣の美濃市の病院へ行くことはあるのか。

(事務局) 美並地域の利用者を美濃市の病院へ送迎することがある。

(委員) そうならば、申請書に対象となる病院の一覧を掲載するとよい。また市が行う福祉有償運送以外に民間事業者で行っているところはあるか。

(事務局) 市で行っているサービスは、外出支援で車いすの人などを対象としている。民間事業者ではNPO法人など市内に2社、福祉有償運送を行っているところがある。専用車両による福祉タクシーを行っている事業者もある。

(委員) 民間事業者の福祉有償運送の許可の協議はどこで行っているのか。今後の交通会議で議題として提出されるのか。

(事務局) 民間事業者については福祉部門の会議で協議するため、公共交通会議としては市が運行を行っている福祉有償運送のみである。

(委員) 岐阜運輸支局からですが、他市の事例で、安全運行管理について、免許証が切れて運行している事例が発生しておりますので、郡上市についても気を付けていただきたい。

(委員) この福祉有償運送の運転手はどのような方なのか。

(事務局) シルバー人材センターと社会福祉協議会に運転手の登録をお願いしている。現在16名。

運転手は2種免許証保有者か、特定の講習を受けることを義務づけている。

(議長) 頂いたご意見を踏まえ運用を行うということで、本議題については承認することとしてよろしいか。

(委員) 異議なし

(議長) 本議題について承認する。

#### 議題第4号 郡上八幡白鳥線（白鳥交通）の便数及びダイヤ変更について

(説明者：(株)白鳥交通 古川) 資料4

##### \*質疑応答

(委員) 今回の改定にあたり、利用者の乗降調査などを実施したのか。

(白鳥交通) 利用者の乗降調査を実施し、その上でこの路線に変更することに決めている。

(委員) 乗降数などの資料を提供の上、本議題を協議できるとよい。また利用者の対象を高校生にすることは良いが、一般の方をどうするかは市と協議を行うべきである。

(委員) 郡上高校 PTA としては、今回の改正は、高校生のニーズを調査し、素早く対応していただいたことに大変感謝している。PTA の保護者会でも通学帰りのバスが課題であると考えていた。今年高鷲地域の生徒が寮に入れずに、通学する生徒が増えたという問題があったが、今回のダイヤ改正は高校生を持つ家庭にとって大変助かるものである。

(委員) このような改正は、本来は4月から実施するのが望ましい。こういった情報は教育委員会が把握されているはずなので、定期的に情報共有を行い、ベストなタイミングでダイヤ改正するとよい。

(事務局) ダイヤ改正を調整するしっかりとした体制が無いため、今後調整していきたい。

(委員) 民間事業者はダイヤ改正をする際、多少なりともコストがかかる。市が音頭をとり、ダイヤ連携の調整を行えば民間事業者も助かると思われる。これは市に対し要望したい。

(委員) 毎年春に高校生への無料試乗体験を行っており、今年は例年より人数が多かった聞いたが、そういう機会を活かして、高校生のニーズ把握を行ってはどうか。実際、高校生がいる家庭では、バスのダイヤ次第で大変な苦勞があると聞いている。来年度以降のダイヤ調整体制を整えてほしい。

(議長) 民間の事業者だけではわからないことも多々あるかと思われるので、市として調整するようお願いしたい。本議題について異議はありますか。

(委員) 異議なし

(議長) 異議なしと認め、原案の通り承認する。

#### 議題第5号 郡上市地域公共交通網形成計画の策定について

(説明者：企画課 酒井主査) 資料5

##### \*質疑応答

(議長) 今回の議題は承認を求めるものではなく、この会議で協議のみを行うものであることを事務局に確認したい。

(事務局) 調査データの説明が長くなり、申し訳ありませんが、この後の説明で協議したい事項がある。

(委員) 説明が多すぎて、聞いているだけで大変であり、判断を求められても難しい。今後もこのような形で会議が行われるのであればしっかりとした協議ができない気がする。将来の公共交通を考えると大事なことなので、十分な協議の時間をとって欲しい。何度も会議を開催するより、事務局としてはまとめて会議を開催したいという考えがあると思われるが、重要なことなので慎重に審議したい。現在、自分も車で移動しており、公共交通を利用していないので、当事者ではないし、正直そういった将来を考えたくないという思いもある。しかし、いつかはその時期が来るし、この会議が果たす役割は大きい。したがって、この議題の協議には相当エネルギーがいる。事務局もできるだけ整理して議題を

作成してほしい。またこの議題だけで会議を開催してほしい。

(委員) 通学通勤が同じカテゴリーで統計がとられているが、一般の利用と学生が分けられていないのはどうか。もっとしっかりした調査が必要なのではないか。またタクシーに関するデータが無い。タクシー協会などに問い合わせればタクシーに関するデータは直ぐに手に入る。タクシーも自主運行バスと同じぐらい高齢者を乗せている。そういった事実をこのデータには反映されていない。タクシーが今消えつつあるので、そういった現状を反映した計画にしないといけない。このような資料を検討しても意味が無い。タクシーだけでも年間5万人は送迎している。タクシーには市から補助金が出ていないから市として把握していないだけではないか。

(議長) 事務局に対し、こういったデータがほしいという意見を出してはどうか。

(事務局) 資料のアンケート集計にはタクシーについても調査している。今回説明したのはバスに関する部分が多かったが、データとしてはすべての公共交通機関を対象に調査を行っているので、今後のデータの取りまとめ方を検討したい。

(委員) 私たちはNPO法人としてボランティアによる高齢者の無料送迎事業を実施している。今年度東京電力が主催する電気自動車活用アイデアコンテストに応募したところ、車両を1台3年間無償貸与されることとなり、それを使って事業展開を行う予定をしている。電力には現在石徹白地域で行っている水力発電を利用する計画である。今後は公共交通空白地運送に向けて事業展開を考えている。福祉、観光分野などとも連携して、地域の足の確保をしていきたい。公共交通計画の中にもNPO法人などの活動を加えていただきたい。

(委員) 県の公共交通課ですが、県内の状況として、鉄道、バスなどの路線の数は年々増えているが、利用者数は年々減少しており、年々運行経費が増大している状況である。県からお願いしたいのは、これまで出たような要望、ニーズをどんどん加えていくのではなく、すみ分け、役割分担を考えてほしい。例えば長良川鉄道とバスが重複している路線などをどう役割分担するかなどである。今後継続していくためには、効率化を図って、年々増加する運行経費をどう抑えていくかが重要だと考えている。その辺のバランスを考えて形成計画の策定を進めていただきたい。

(委員) 調査データで間違っている部分があるので、しっかりとした数字の把握をお願いしたい。また、高速バスについて、八幡インターには相当数の高速バスが八幡インターで停車している。高速八幡線だけでなく、その他の高速バスの運行状況と、郡上での利用状況についても把握された方がいい。今回の協議事項5は計画策定の途中経過の報告と考えられるので、協議事項から外していただきたい。

(委員) バスの利用状況で、時系列に利用人数を見ていくと、利用者が減ったところと、増えたところがある。中には倍に増えている路線もある。その増減要因を事務局でしっかり分析を行ってほしい。それをわかっていないと計画策定は無理なのではないかと考える。ここが重要である。高齢者が増えてこれば利用者も増えてくるはずなので分析をお願いしたい。

(議長) 交通アドバイザーから意見をお願いしたい。

(交通アドバイザー) 今日資料をもらい、今日ここでこれを議論するのは無理である。資料は事前に配布し、今日ここで何について議論するかを事務局でしっかりまとめておくことが大切である。この2時間で協議するのは難しい。今回はここまでしかまとめていないなら、そのことを初めにしっかり説明するべきである。そうでないとなかなか建設的な意見にはならない。前半の説明が長すぎて、まだ説明していないが、計画の骨子という大事なことが協議できないでいるので、会議の進め方に気を付けて次回以降開催してもらいたい。

(議長) 市として事業者 directly 意見を聞くなどして、今回提供した資料以外にもいろいろと情報を集めているので今後そういったことも情報提供していきたい。またこういったデータがほしいなどの意見を事務局に寄せていただきたい。その上で、次回は議論の焦点を絞って会議を進めるようにしたい。

(委員) 会議の運営方法として、ダイヤ改正などは書面決議などを利用して、会議の内容を整理するといいい。それで、集まって議論する議題を整理するとよい。社会福祉協議会の会議などでも分厚い資料を当日もらって協議することがあったが、今は1週間前に資料を配布するようになった。交通会議もそのようなやり方をお願いしたい。私は地域の代表なので大変な宿題をもらったように感じる。今回もらった資料をしっかり理解し、今後行われる地域の検討会などで意見を言わないといけない。帰ってしっかり資料を勉強する。

(事務局) 懇談会の資料は今回の資料を基に地域ごとに作成する。今回お配りしたのは郡上市全体の資料である。

(委員) 美並地域として地域の人に喜んでもらえる計画にしたいので事務局をお願いしたい。

(議長) 次回の会議に向けて事務局で資料を整理してもらい、次は議論を絞って協議を行うこととし、今回

の協議事項は次回に向けて継続するという事で終わりたい。

#### 4. 報告事項

##### 報告第1号 郡上八幡万場線、白鳥ひるがの線のダイヤ変更について

(事務局：企画課 酒井主査 資料6)

##### 報告第2号 自主運行バス（高鷲）鷲見線のダイヤ変更について

(事務局：企画課 酒井主査 資料7)

#### \*意見交換

(委員) 岐阜運輸支局ですが、網形成計画について過去のデータなどを整理していただいているが、まずは基本方針を固めて、何をすべきかを今後の会議で議論していただきたい。自家用車が多いことは地域柄仕方がないことであるが、免許証を返納してから考えるのでは遅い。厳しい言い方ですが、自家用車に慣れておられる方にとっては公共交通を利用するということは大変難しいことであり、そのことに気づいていない方が多い。地域懇談会ではそういったことをあえて伝えていただきたい。自分の視点に入れて考えないと実用的な計画はできないと思う。地域の意識作りから進めてもらいたい。

(事務局) その他意見が無いようであればこれにて会議を閉会とする。

#### 8. 閉会

(出井副会長あいさつ)